

1. 基本情報

- (1) 国名：ヨルダン・ハシェミット王国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
- (3) アンマン市，イルビッド県，マフラック県，アジュルン県，ザルカ県，バルカ県，ジェラシュ県
- (4) 案件名：北部シリア難民受入地域における廃棄物処理資機材整備計画（The Project for Improvement of Waste Management Equipment in Northern Region Hosting Syrian Refugees）
- (5) 事業の要約：
ヨルダン北部のシリア難民受入地域を対象に，廃棄物処理に関する中継基地及び最終処分場において必要な資機材を整備することより，難民流入の増加に伴い不足している廃棄物処理能力の向上とともに地域住民の衛生・生活環境の改善を図り，もって同国の平和創出に向けた安定の維持に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国におけるシリア難民受入地域の開発の現状・課題及び本事業の位置付け
2011 年 3 月に始まったシリア危機の影響により，ヨルダン・ハシェミット王国には多くのシリア難民が流入している。2016 年 6 月現在，同国で国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に登録されているシリア難民は約 65 万人に達しており，トルコ共和国，レバノン共和国に次ぐシリア難民受入国となっている。

同国に避難してきたシリア難民のうち，約 8 割強は，ホストコミュニティで都市型難民として生活している。最も多くの都市型シリア難民を受け入れているのは，アンマン県（ヨルダン国内の都市型シリア難民の 26.4%，以下同じ），次いでマフラック県（23.9%），イルビッド県（20.9%）となっており，シリア国境に近い北部地域に難民が集中している。これらの地域では，難民流入の増加に伴い，教育や保健医療といった社会サービスの提供を維持することが困難になっている。さらに，廃棄物発生量が増加している一方，廃棄物処理機材が不足・老朽化し，中継基地や最終処分場における廃棄物の収集・処理・処分能力が十分でないことから，不法投棄，廃棄物の不適正処分，野焼き等が行われ，ごみの飛散や悪臭の発生といった環境・衛生面での問題につながっている。

同国政府は，「Jordan Response Plan 2016-2018」（以下「JRP」という。）を策定し，シリア難民受入に伴う開発ニーズの確認や脆弱性評価を実施しており，同計画上でも廃棄物問題への対応の必要性を指摘している。また，国際機関や各ドナーも，シリア難民受入地域を中心に廃棄物セクターへの支援を続けているものの，開発支援ニーズは増え続けている。

このような背景を踏まえ，本事業は，難民流入に起因する廃棄物発生量の増

加の影響を多大に受けている北部地域（アンマン市、イルビッド県、マフラック県、アジュルン県、ザルカ県、バルカ県、ジェラシュ県）において、廃棄物処理に関する中継基地及び最終処分場の資機材整備を支援するものであり、JRPに基づき、シリア難民を含め対象地域に居住する地域住民の衛生・生活環境改善に資するものとして位置付けられている。

(2) シリア難民受入地域に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対ヨルダン・ハシェミット王国国別援助方針／事業展開計画では、「平和創出に向けた地域間交流」を重点目標としており、その中で「シリア難民及びホストコミュニティ支援プログラム」を定めている。また、我が国とヨルダンとの二国間関係は良好であり、要人往来も活発であるところ、2016年4月の日・ヨルダン首脳会談において、我が国は、困難な状況の中で中東地域の安定を支える同国の努力を常に支持している旨伝達し、その上で、両首脳は、両国間で幅広い分野において一層協力を進めていくことで一致している。本事業はこうした方針に合致する。

(3) 他の援助機関の対応

同国の廃棄物処理に関する国家戦略の実施を促進するため、EU/AfD が総額1.6億ユーロの支援を表明しており、財政支援、インフラ・機材支援等を実施する予定。また、GIZの支援により、北部地域の廃棄物マスタープランが策定される予定となっている。これらの他の援助機関による支援と本事業との連携の可能性を含め、詳細は協力準備調査にて確認する。

(4) 本事業を実施する意義

ヨルダン・ハシェミット王国の所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の適否について精査が必要である。

同国は、2011年のシリア危機発生以降に生じている難民を数多く受け入れており、難民流入の増加に伴い、自治体による廃棄物処理サービスが悪化している。特に中継基地や最終処分場での処理能力が不十分であり、ごみの飛散や悪臭の発生といった環境・衛生面での問題が発生していることから、被害の拡大を避けるために迅速な対応が必要であり（「緊急性・迅速性」）、②人間の安全保障の観点から、本事業を通じた個人の尊厳、生命、生活に対する脅威への対応が必要である（「人道上のニーズ」）。

本事業は、上記の観点を満たすものであり、無償資金協力の供与が適当と判断できる。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、ヨルダン北部のシリア難民受入地域を対象に、廃棄物処理に関する中継基地及び最終処分場において必要な資機材を整備することにより、難民流入の増加に伴い不足している廃棄物処理能力の向上とともに地域住民の衛生・生活環境の改善を図り、もって同国の平和創出に向けた安定の維持に寄与するも

の。

② 事業内容

ア) 施設、資機材等の内容：圧縮装置、中継車両、トレーラー、ブルドーザー等の廃棄物処理関連資機材（詳細は協力準備調査にて確認する。）

イ) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認する。

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認する。

③ 他の JICA 事業との関係

現時点では特にはないが、協力準備調査にて技術協力の可能性を含めて検討予定。なお、「ヨルダン・ハシェミット王国北部地域シリア難民受入コミュニティにおける廃棄物管理改善のための情報収集・確認調査」（2016 年 2 月～5 月）において、北部のシリア難民受入地域の廃棄物セクターの基礎情報を収集するとともに、中継基地及び最終処分場に関する課題・ニーズを確認しており、その結果も踏まえ、本事業の形成を行っている。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

ヨルダン・ハシェミット王国自治省（Ministry of Municipal Affairs）

② 他機関との連携・役割分担

特になし。

③ 運営／維持管理体制

各自治体にて関連施設・資機材の運営・維持管理を行う。人員等の体制面、技術面、財務面等の詳細は、協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリー分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリー分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

流入している難民の移動の可能性及び廃棄物処理サービスへの実態的なアクセスと負担の平等・不平等の状況を協力準備調査にて確認する。

(5) ジェンダー分類

ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項

車両整備施設・パーツ置場等の施設建設（インフラ）については、本邦業者の応札動向も見極めながら、本事業の対象に含むべきか否か、協力準備調査にて検討する。また、支援対象とする中継基地及び最終処分場は、協力準備調査にて絞り込むこととする。併せて、本事業で供与する設備・機材の運用・維持管理に関する支援の必要性についても確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

パレスチナ自治政府「ごみ処理機材整備計画」の事後評価結果等では、スベアパ

一ツの入手可能性への配慮が機材の継続的な活用に際して効果的であったとの教訓が得られている。本事業においても、協力準備調査の段階で、スペアパーツの調達先を考慮しつつ機材の選定を行い、機材の継続的な活用を図ることとする。

以 上

〔別添資料〕地図

[別添資料]

北部シリア難民受入地域における廃棄物処理機材整備計画
協力対象候補の廃棄物関連施設

